

信州がんセンター 緩和ケア部門

診療科の特色

・緩和ケア認定医・専門医や緩和ケアを提供できる医師の育成

信州大学の緩和ケアは、緩和ケアチームの活動と緩和ケア外来とで構成されます。緩和ケアチームには年間250例以上の新規患者紹介があり、また、緩和ケア外来では年間のべ350～400例の症例が経験でき、がんだけでなく、心不全や神経難病など様々な症例を経験することができます。

信州大学では現在日本で発売されている、オピオイドをすべて処方することが可能で、各々のオピオイドの特徴を具体的に学ぶことができます。

緩和ケアチームのメンバーは精神科医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなどたくさんの職種から成っています。緩和ケアチームは、週に1回、多職種カンファレンスを行っており、カンファレンスに参加することにより、横断的医療を経験することができます。

研修責任者の間宮は、信州大学で唯一の日本東洋医学学会の漢方専門医、指導医でもあり、患者の症状緩和に対する漢方治療も学ぶことができます。

また、長野県下の地域がん診療連携拠点病院(がん専門病院)では、緩和ケアの専門医を専従で配置すべきとされ、県内でも信大病院を中心にその教育・指導を継続しています。当院は都道府県がん診療拠点病院であると共に日本緩和医療学会の認定研修施設でもあります。緩和ケアの専門医や研究を希望する若手医師には最適で、指導環境も整備されています。



緩和ケア部門 間宮敬子教授

専門研修の魅力

1)がん患者に対する緩和ケアの習得

がん患者の身体症状や精神症状の評価し、治療を計画し実行することができます。また、がんの治療による副作用を同定し、それに対する治療を提案することができます。

2)非がん患者への緩和ケアの習得

非がん患者の身体症状や精神症状の評価し、治療を計画し実行することができます。

3)他職種と協力する体制の習得

医師以外の職種と協力して患者やその家族の緩和ケアを行うことができます。

4)家族ケア、グリーフケアの習得

患者の家族のケアや遺族のケア(グリーフケア)の手法を習得することができます。

5)症状緩和に対する東洋医学的アプローチの習得

漢方薬や鍼治療による症状緩和の方法を習得することができます。

6)臨床研究、基礎研究

新しい鎮痛薬や症状緩和の薬剤を使用しての臨床研究や、神経ブロックや鍼治療を行っての臨床研究、「ラットを用いての疼痛治療」に関する基礎研究を行うことができます。

研修カリキュラム

・緩和ケア認定医をめざす研修

日本緩和医療学会の認定研修施設である当院で6か月以上研修し、かつ50例の症例を担当していただきます。5例の症例報告書の記載と日本緩和医療学会の学術大会への出席、学会が指定するセミナーの受講、研修会も受講していただきます。筆記試験の指導も行います。

・緩和ケア専門医をめざす研修

日本緩和医療学会の認定研修施設である当院で2年以上の緩和医療の臨床研修を行い、自ら緩和医療を担当した20例の症例報告書の記載、緩和医療に関する教育歴を2件以上経験していただき、緩和医療に関する筆頭の原著論文または症例報告を作成していただきます。また学会発表もしていただきます。筆記試験と口頭試問の指導も行います。

・漢方認定医を目指す研修

受験単位7単位を取得していただきます。漢方有効症例30例を経験していただき、詳細な臨床報告5例の症例報告書を記載していただきます。認定医試験の指導も行います。

・漢方専門医を目指す研修

専攻医登録を行っていただき、当院で漢方の臨床を3年研修していただきます。受験単位7単位を取得していただき、漢方有効リスト50例を経験していただき、詳細な臨床報告10例の症例報告を記載していただきます。専門医試験の指導も行います。

取得できる専門医、資格など

緩和ケア

日本緩和医療学会 認定医 専門医

漢方

日本東洋医学学会 漢方認定医 漢方専門医

ペインクリニック

日本ペインクリニック学会 専門医

麻酔科でペインクリニックの研修を行うことが基本ですが、緩和ケアでの研修期間もペインクリニック専門医の取得にカウントすることができます。



2021年緩和ケアチーム

サブスペシャリティー・学位取得の道筋

緩和医療は日本専門医機構の基本19科には入っておりません。まずは基本19科の専門医を取得されることをお勧めいたします。基本19科の専門医の取得途中の方で緩和ケア認定医を取得したい方は所属の医局や病院の指導医の了解を得た上で、緩和ケアの研修を行うことは可能です。

緩和ケア専門医、漢方専門医のみを取得したい方は直接当センターに所属することも可能です。

緩和ケア認定医(日本緩和医療学会)

緩和ケア専門医(日本緩和医療学会)

漢方認定医(日本東洋医学学会)

漢方専門医(日本東洋医学学会)

・学位取得に関して

希望者には基本19科での医学博士課程(学位)に所属していただきながら、緩和ケアの研修を行っていただくことは可能です。

大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

- 1) QOLの高い疼痛緩和を目指した、インターベンション治療の検討
- 2) 緩和医療における新たな除痛効果評価法の検討
- 3) 疼痛緩和治療法のラットを用いた基礎的研究
- 4) 非薬物療法を用いた緩和医療の介入効果とその有用性の検討
- 5) 緩和医療における漢方薬の有用性の検討 など

国内留学・海外留学

- ・国内留学
国立がんセンターなどでの緩和ケアの臨床研修
インターベンション治療を習得するための短期留学
- ・海外留学
カナダ、アメリカなど、海外の研修施設での臨床研修、見学

将来の就職先など

- 大学病院での指導者、研究者を目指す
- 地域がん診療連携拠点病院に勤務
- 長野県内外の緩和ケア病棟に勤務
- 在宅支援医療機関などに勤務
- かかりつけ医として開業
- 国内留学、海外留学

連絡先

信州大学医学部附属病院 信州がんセンター内 緩和ケアセンター

■住所: 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-23-3562 ■FAX: 0263-23-3562

■E-mail : keiko@shinshu-u.ac.jp

■U R L: <https://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/cancer-center/patient/palliative.html>
<https://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/cancer-center/about/care-message.html>

■専門研修プログラムの詳細は、信州大学医学部附属病院HP 卒後臨床研修センター → 専門研修[信州がんセンター緩和ケア部門]